



議会だより

とうえい



わたしの町とうえい



もくじ

6月定例会概要報告	P2-4
第2・3回議会臨時会	P5-6
一般質問ダイジェスト	P7-10
わたしの町とうえい／人生のお手本	P11
議会の新体制／議会活動報告／管内視察／9月定例会の予定	P12

6月 定例会

6月定例会は、6月7日から16日までの10日間の会期で開催。
令和3年度一般会計補正予算を始めとした5議案のほか、承認1件、同意案2件、その他9件が上程されました。また4人の議員が町の施策について一般質問を行いました。審議された案件は**全会一致**で原案通り可決しました。

審議された主な内容

条例の一部改正等

○東栄町町税条例の一部改正について

個人町民税の非課税の範囲について、均等割の非課税限度額における国外居住親族の扱いを見直す

○東栄町固定資産評価審査委員会条例の一部改正について

令和3年度税制改正に伴い、審査申出手続等における押印を不要とする

○東栄町辺地総合整備計画の変更について

林道の改良、消防積載車の更新による辺地計画の変更

一般会計補正予算

○令和3年度東栄町一般会計補正予算（第3号）について

新型コロナウイルス感染症予防対策費用（7845万7千円）

落雷による機器修繕費等（126万3千円） 林道事業費の追加（290万円）

○令和3年度東栄町簡易水道特別会計補正予算（第1号）について

水道技術管理者養成費用、本郷地内排水管増設に係る設計費用（180万8千円）

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（3次分）

地方公共団体の新型コロナウイルス対応の取組を支援する、国の地方創生臨時交付金（3次分）について、6月議会で各事業が決まりました。

子育て応援商品券事業

18歳以下の子どもを持つ世帯に
子ども1人あたり
1万円分の商品券を配布

プレミアム付き商品券 発行事業

町内商店等で使用可能な30%の
プレミアム付き商品券
6,500円分を12,000冊発行
65歳以上1人1冊無料配付

臨時休業等における 環境整備事業

自宅でオンライン
授業等が実施できるよう
モバイルルーターを貸し出す
小学校15台、中学校10台

新しい働き方対応支援事業

町内中小事業者に対して、
新しい生活様式に対応した設備・
機器等の導入経費の一部を助成

1事業者30万円まで

東栄町事業持続応援事業

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた
事業者に対して、事業継続を支援。
昨年の収入低下の1/4を支給

1事業者上限50万円、個人25万円

その他、町営バス等空気清浄機発生機整備事業（町営バス車内に空気清浄機取付）、高齢者フレイル予防対策事業（運動不足が懸念される高齢者に対し、自宅でもできるオリジナル体操と健康手帳を作成）、公共施設無線LAN環境整備事業（花祭会館に無線LANを整備し、オンラインイベント、WEB会議に対応する）、公共宿泊施設等備品購入（体表面温度測定器、手指消毒スタンド、飛沫防止パネル）

総事業費7845万7千円（うち臨時交付金7127万7千円）

委員会報告

文教福祉委員会

一般会計補正予算

●子育て応援商品券

問 子育て支援として、子ども1人当たり1万円分の商品券を配布する。金額の根拠となる町民の生活実態調査や確定申告の状況など調査したか。

答 子どもの新型コロナ対策に係る費用負担の増大を推察し、18歳以下の子どもを持つ家庭に1人あたり一律の金額の商品券を配布する。生活実態に合わせて行う事業ではない。

問 コロナ関連対策として、タブレットと筋力測定器を利用し、おいでん家の体操を通じてフレイル予防体操を行う。各おいでん家でどう進めるか。

台数を設定しているか。通信事業者とは、どんな取り決めか。

答 体操講師を1月から3月の間に地域に派遣し、今回公募する会計年度任用職員とともに体操の啓発を行う。筋力測定器を購入し、おいでん家で定期的に測定を行いデータを集計し、今後の事業につなげたい。

問 各おいでん家で健康づくりのメニューとして活かす継続事業か。

答 その通り。今年度、この事業とは別に介護予防の把握の事業を行い、運動機能のハイリスク者を抽出できる。地域包括と協力し訪問活動等で徹底を図りたい。

●臨時休業等における環境整備

問 小中学生のいるWi-Fi環境のない家庭にモバイルルーターを貸し出す事業だが、調査した上で

答 コロナ等の影響で臨時休校になったり、児童が長期間休む時にタブレットを自宅に持ち帰りオンラインで学校とつながることを想定している。Wi-Fi環境がない世帯は小学校14世帯、中学校10世帯。1カ月間の休校を想定し、小学校15台分、中学校10台分の機器レンタル料（1台あたり月額8千778円）1カ月分を予算計上した。

答 とうえい保育園233万円、放課後児童クラブ69万円、とうえい温泉48万円、東栄小学校469万円、東栄グリーンハウス27万円、合計847万円。

問 落雷対策を伺う。

答 保育園・放課後児童クラブ・小学校・グリーンハウスの落雷対策は、現在、何もできていない。被害時に早急に修繕する。

●保育料の償還金

問 保育料34万円の返還金が生じた経緯と保護者に謝罪したか伺う。

答 平成28年の子ども子育て支援法改正で、年収360万円未満の世帯または所得税が一般世帯で5万7千700円未満、ひとり親・在宅障害者世帯で7万7千101円未満の世帯が保育料減免の対象になった。役場の事務手続きに年収の要件しか記載せず、所得税による減免が漏れていた。

手引きの修正などにより今後は発生しない。対象者には説明に伺うことを考えている。

●臨時特別給付金費

問 住民税非課税の子育て世帯に5万円を給付する国の事業だ。その他の対象世帯は該当するか。

答 新型コロナの影響で令和3年1月1日以降の収入が急変し、住民税非課税相当となった世帯も対象になる。申請が必要で、広報誌やホームページ等で周知したい。

総務経済委員会

町税条例の一部改正

問 どんな人が控除対象扶養親族から外れるか伺う。

答 30歳から69歳までの者で、留学以外の理由で国外に居住し、障害者ではなく、扶養する者から生活費又は教育費の支払いを年間38万円以上受けていない者。

一般会計補正予算

●プレミアム商品券

問 予算額3千83万円の内訳を伺う。

答 プレミアム分1千8百万円、高齢者への配布

分780万円、印刷費80万円、事務手数料390万円、消耗品・郵送料30～40万円。

問 購入を見込む人数・冊数を伺う。

答 前年度の商品券の販売率は約40%だった。今年度は人口の40%の1千2百人が1人10冊購入できるような1万2千冊を予定している。

問 商品券が全て町民に渡り、地域に循環する工夫・努力を伺う。

答 昨年度は1人あたり5冊を購入上限としたが、たくさん買いたいとの要望があった。今年度は10冊までとする。さらに65才以上の方に1冊無料で交換できる引換券を配布する。町民

への販売後、余りがあれば設楽町や豊根村で行っているように町外の方への販売も検討し、それでも余れば10冊購入した方も追加購入できる仕組みを検討している。

●新しい働き方対応支援事業
問 予算額1千584万円の補助対象は。

答 3密回避や感染対策の設備や機器等の購入、施工等に要する経費の補助

事業だ。飛沫防止のアクリル板設置、間仕切り、消毒用アルコールディスプレイの装置、空気清浄機、検温器、換気設備等の備品の購入・工事等に対し、費用の4分の3（事業あたり30万円を上限）を補助する。令和2年4月から遡って対象とする。

●事業持続応援金

問 予算額1千836万円の応援金の対象要件は。

答 新型コロナウイルスの影響で多くの事業者が減収・減益となっている。昨年度、

協礼金や持続化給付金などの補助金収入があっても足りない事業者にも、確定申告の（収益の）前年との差額の4分の1、法人50万、個人25万を上限に支給する。

問 持続化給付金の対象にならない事業者も減収であれば対象になるか。

答 対象になる。

簡易水道特別会計補正予算

問 排水管布設設計業務委託124万円とは何か。

答 東栄小学校付近からタイガーサッシュ付近の

排水管の布設にかかる設計業務。この地区は水圧が非常に高く、小学校・保育園に減圧弁を設置し、一般家屋には仕切り弁等で調整するなどしている。今後の医療センターへの引き込みにも関わり、減圧弁の設置か、別の方法か、調査も踏まえて設計を行う。

議会の傍聴での規則を見直しました。

議会の傍聴は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため傍聴者数を制限しているところですが、6月1日より東栄町議会傍聴規則に傍聴券の規定を追加しました。

- ・傍聴券を交付できる規定とともに、予定の傍聴者数を超えた場合は抽選による
- ・傍聴券の交付を受けたものの以外は使用できないことを追加



議会定例会は、年4回（6・9・12・3月）開催。上程された議案を委員会で審議し最終日に採決されます。この間、町政に関する質問（一般質問）も行われます。議会事務局で受付をし、議会の様子を傍聴しませんか。

なお、録音、写真撮影等は、議長の許可以外はできません。

第2回 議会臨時会

令和3年4月30日に臨時会を開催。

議案1件、専決承認案5件が**全会一致**で可決承認され、さらに森田昭夫議員が提案し、伊藤紋次議員の賛同により、東栄医療センターの名称を「東栄診療所」に変更し、診療科目を削除する条例改正案が追加上程され、**賛成3、反対4**で否決されました。

東栄町医療センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

問 加藤 彰男 議員

条例改正に伴い、同時に改正が必要な条例がどの程度あるか。新型コロナウイルスのワクチン接種を進める中で、どんな行政実務が生じるか。対応できるかどうか具体的なシミュレーションを行っているか。

答 総務課長

町の条例9つ、規則9つ、その他規程等が10個、およそ30弱の改正が必要となる見込みだ。

答 医療センター事務長

名称変更に伴う手続きは、医療法上の名称変更、診療報酬の保険請求にかかる保険法の手続き、生活保護法、被爆者援護法、感染症、結核、介護保険法、障害者自立支援法、労災保険、難病外来指定医療

機関・難病指定医師の変更、身体障害者指定医師の名称変更、その他7件。電子カルテ、看板や職印、封筒等の更新、関係医療機関への周知や院内掲示物、公共交通の表示変更などが必要だ。

名称変更が議員提案で、現場の状況を配慮せず唐突に出されたことは大変遺憾だ。住民検診を遅らせ、役場職員の応援も借りてワクチン接種体制を整えている。この議案が可決されれば無駄な費用がかかることはもとより、膨大な事務作業が準備なしに始まり、ワクチン接種や住民検診への影響は避けられない。センター長をはじめ職員も大変憂慮している。

問 伊藤 芳孝 議員

診療所は移転新築が決まっており、どこかで名称を変更しなければならぬ。来年3月の当初予算で整備するのが良いと思うが、どのような予定か伺う。

答 町長

今年度内には必ず変更しなければならないと思っている。早くして12月、3月定例会には必ず提案したい。

問 浅尾もと子 議員

改正案は、診療科目の削除を含んでいる。診療科目を条例に明記する法的義務はないが、町が行うべき医療の目標・約束として行政をしばる側面がある。削除すれば、行政はいつでも簡単に診療科目を改廃できるのではないか。

答 森田 昭夫 議員

診療科目を決定して、医師を選べる状況にない。医師であれば誰でも来てもらえる体制を作るために、診療科目は削除すべきだ。

反対討論

浅尾もと子 議員

村上町長は2年間、国の医療広告ガイドラインに明白に違反する誇大広告の名称「東栄医療センター」について、県の再三の改称要請に応じなかった。議会の意志で、あるべき名称に是正させることを願う。

しかし、診療科目が削除されれば、行政は簡単に診療科目を改廃できるようになる。人工透析は議会への報告だけで廃止された。町は、現在の診療科目を建て替え後も維持する予定だと答弁しているが、情報公開された「在宅医療・介護チーム」などの会議録では、診療科目は5年持つかわからない旨の発言がある。また町は、眼科・耳鼻科をどうするのかわからない旨の問題意識と資料を示している。医療体制の縮小を容易にさせる改正を議会が行うべきではない。町民の利益を守るため反対する。

賛成討論

山本 典式 議員

「東栄医療センター」の改称は、県が「へき地医療拠点病院」の指定を取り消した時点で、地域の中核的な機能を担っているとは言い難い状況となり、県から名称変更するよう指導されていた。法を遵守すべき立場にある町長が、未だに「県と事前に協議した上で申請しているの、何ら問題ない」と一般質問にも答えているが、本来は町長が提出すべき議案であり、これまでの経緯を考えると議員提出もやむを得ないと判断する。

診療科目は、本来明記する必要のない項目であるため、削除しても問題はないとの説明があった。医師を始め医療スタッフが揃い、体制が整えば、人工透析などをいつでも再開できることが確認できた。村上町政がこの議案の提出経緯と内容を忘れることなく町民のために努力義務を果たすことを願って賛成する。

第3回 議会臨時会

令和3年6月25日に臨時会を開催。

6月21日、町長から議長に対し6月30日に退職したい旨の申し出があり、法で定める退職の時期(20日)前であったため退職の期日に関する案件が上程され、賛成4、反対3で可決されました。

問 伊藤 芳孝 議員

町長の退職理由は。

答 町長 平成27年4月から、現在まで6年余りの町政運営に努めてきた。

昨年から全国に蔓延しているコロナ禍の中で1回目が条例の制定改廃の請求署名、その後期間も空けずに町長の解職請求の署名となりこの半年間町の混乱は避けられず大変残念に思う。先日、選挙管理委員会による再審査が終了し、必要な有効署名数が確定、今後60日以内に住民投票が行われることになるがこのような時期であり考えさせられたが、住民投票後に、もしかすると再選挙になる可能性も考えられ長期になることも予想されることから町長の職を辞して選挙戦に挑むことを決めた。この選挙を通してしっかり住民にお伝えし最終判断を仰ぎたいと考える。

問 伊藤 芳孝 議員

町長の退職によって、医療センターの建設が遅れる

ことはないか。7月予定の入札はどうか。

答 副町長

指名審査会において入札の協議をした。その結果、今回の入札は中止した。内容は延期である。

問 伊藤 芳孝 議員

リコール賛否投票と町長選挙と2回の投票ではなく、町長選挙1回の投票になるが、その違いはどんな点か。掛かる費用や関係する職員の体制、立会人など。

答 総務課長

町長選になった場合82万9千円、解職投票にかかる費用716万円を予定。全て一般財源。町長選挙は、火曜日に告示、期日前投票は水曜日から土曜日までの4日間、投票日及び期日前投票は投票管理者1名、立会人2名従事。この他事務従事者は職員が2名必要。開票事務従事者30名から40名必要。解職投票は、期日前投票の19日間に対する立会人及び事務従事者の確

保がかなり困難になると考える。

問 伊藤 芳孝 議員

退職で町長が不在になるが、ワクチンの接種などの影響はどうか。接種のスケジュールやワクチンの確保など。

答 住民福祉課長

6月23日現在で1回目の接種を終えた方は1千68人。65歳以上の対象者の接種率にすると68.6%。2回目目を終えた方は697人。対象者の接種率は44.8%。65歳以上の高齢者接種は7月21日に希望者全て接種が終了する予定。64歳以下の接種は7月12日から1回目の接種を始めて9月末か10月初旬には2回目の接種が終了する予定。ワクチンについては、ファイザー製のワクチンを使っている。今のところ問題なく入荷。

問 浅尾もと子 議員

入札を中止したこと町長の退職の関係はどうか。

答 副町長

現在の状況を鑑みてこういう形を取った。

問 浅尾もと子 議員

リコール賛否投票で町民の審判を受けるべきではなかったか。退職して出直し選挙を選んだ理由は何か。

答 町長

先程、退職理由を説明させていただいたとおり。

問 加藤 彰男 議員

自治法では退職日まで20日空けることになっているが、その前の6月30日付で退職するのはなぜか。これまでの政策や事業が滞ることはないか。そのため必要な措置が取られているか。

答 町長

半年間このことで本当に混乱をさせたことも事実であり、住民投票の状況はさらに期間が延びる。その状況如何によつては再選挙という状況にもなるという状況。不安視もないわけではなく、見通しが立ったというところで21日に議長に提出したのと同じく早い結論を出したいと思っている。法定期日前の退職になることは本当に申し訳ないと思つても、あえてそれを止める

ための監査請求という状況でさらに出されたわけであり、相手方にご迷惑をかける。十分意を尽くしてご説明をさせていただき、この選挙を通じてその状況はしっかりと出てくると思う。このことも踏まえながら6月30日ということを選択させていただいた。

その他の発言
森田 昭夫 議員

不思議に感じるのは当初人工透析や救急医療、入院再開を求めて「東栄町人」が透析、入院を守る会」が「東栄町をよくする会」に変わって、透析、救急医療、入院の再開と新たな医療施設建設に反対する団体になった。人工透析や救急医療、入院の患者の受け入れは、医師でもない町長はできない。医師・看護師にお願いをするのが筋だ。また医療センター建設反対に對してリコール運動であるなら、決定したのは議会であり町民の声を反映していないのだ。議員辞職を考えた場合候補者は、裏付けのない公約を掲げず確実に実現可能な公約を掲げてほしい。3千人弱の小さな町、町民同士がお互いに助け合い、信頼と絆で結ばれる町づくりが必要だ。



加藤 彰男
議員



一般質問動画へ

Q 町の総力でワクチン接種の推進を

A 横断的な体制でスムーズな接種を進めたい

問 新型コロナのワクチン接種は、最重要・最優先の課題である。町のワクチン接種の接種率や接種計画の状況はどうか。

答 住民福祉課長

医療センターで、月・水・金の午後に行っている。65歳以上の高齢者接種（6月6日現在）は、対象者の47%が1回目の接種を終え、うち19.7%が2回目の接種を終えている。接種率は愛知県全体より高い。

答 住民福祉課長

今後必要な対応や課題はなにか。町として総力を挙げてワクチン接種を進めていくことが重要ではないか。

答 住民福祉課長

問 今後の感染症対策も含めて、医療施設整備を進めてく必要がある。新医療センター建設の事業計画はどう考えるか。

現在の医療センターは、接種前後の待合や車椅子の方の移動など、さらに感染対策の区画などが難しい構造である。駐車場も狭く、本庁の保健福祉職員と医療センターの連携など効率が良くない。感染症対策を含め、施設整備が必要と感じる。

Q バイオマス発電への町の対応は

A 住民の協力を得て監視していく

問 事業者から提出された「農業振興地域整備計画変更申出書」へ多くの住民が反対したが変更決定された。引き続き多くの町民から建設計画への「反対」の意思が示されている。

①原料調達先が豊橋・新城周辺なのに、なぜ東栄町に建設するのか。
②計画の説明が不十分で、Fエナジーの代表取締役が説明会に一度も出席していない。
③「産業廃棄物」「水質汚染」「騒音・悪臭」などの心配や不安も出ている。

答 経済課長

代表取締役との面談はおこなっていない。農業委員会の意見聴取で出頭を要望したが、他の取締役が出頭した。

問 事業者は20年間の事業計画で、一般的には数億円、または10億円前後の発電施設を建設し、年間1億数千円ぐらいの売電収入という試算になる。町はどう対応してきたのか。

答 経済課長

今後の農地転用の手続きで資金計画などを確認する。

問 「発電に伴う環境悪化」「住民の健康や生活への影響」の問題から、京都府の福知山市や舞鶴市では「操業停止」「計画中止」になっている。国のガイドラインは「地域住民等と適切なコミュニケーション」と同時に「地域住民の理解が得られず反対運動を受けて計画の修正撤回を余儀なくされる事態も存在する」と述べている。自治体の条例や指導要綱、ガイドラインの遵守も述

答 経済課長

法的な検討も含め県・国に情報提供・相談を行っている。経済産業省のガイドラインは努力義務だが、事業者への連絡や勧告等を行い、違反をしている場合は取り消しもあると聞いている。監視を行っていくので、住民の協力をお願いしたい。



バイオマス発電所建設予定地付近



山本 典式
議員



Q 町長が訴えてきた財政危機の根拠は！

A 10年計画で進めている

村上町政における財政

①この6年間町政を担う中で特に財政健全化を掲げ進めてきた結果を踏えての財政について

②町長の発言に「税収は年間僅か3億円、町の財政は遠からず破綻してしまふ」人口も2千人台、税収等の減少する中、財政の今後の見通しについて伺う。

答 町長

現状は深刻な人口減少と過疎化の継続、税収は3億円を割り交付税に依存、独自事業の展開は非常に苦しい状況、近年東栄医療センターへの赤字補填、情報ネットワークの運営などの支出増加は注意が必要とされている。東栄小学校、給食センター、健康の館など大型事業に係る地方債の元利償還が本格化している。令

和6年度がピーク、それ以降は減少に転じ令和11年度3億円程度になる試算。

答 総務課長

人口減少は税収の減少、交付税についても影響、確実な見通しは難しい状況。

問

町長の所信表明に「町民の皆様の幸せを実現する事が行政最大の使命。町民の皆様の期待に応えるべく約束した事は実現していく」と表明。町長は、任期の前半を、財政の危機的状況を訴え続け、後半は180度転換し、5億円の保育園建設始め23億円程の大型建設追加事業に着手実施。町長立候補当時「待ったなしの健全化！」

「早急に財政健全化を図ります」と明言。町長の訴えてきた財政危機は今年度から始まるのであるが、町長の財政危機とす

る確かな根拠を伺いたい。

答 町長

東栄医療センターの繰出金、ゴミ処理、広域消防に係る運営面での支出など何もしないまま支出を続ければ当然膨れ上がる状況。従って10年計画を前期、後期の計画で進めている。

問

2007年夕張市財政破綻。その際国は地方財政健全化法を整備し、財政悪化前に早めに対策がとれる様になっている。ちなみに決算書を確認したが適正だった。上級機関による危機的状況の指摘はない。このことから、危機的財政状況は、町長独断で作出した作爲的なものと思われるでも仕方がない。この点どうか。

答 町長

財務状況の把握結果によって令和元年度は債務償還能力はやや注意。資金繰りもやや注意だった。

問

町長の後援会チラシに「東栄町財政悪化の危機！」との題で「平成32年度から町で3億円のところ4億円の借金返済が3年続く。過去にない返済額。異常事態

です。このまま突き進めば本町の財政状況は危機的状況になります」との内容。3億円の税収と4億円の借金返済額だけを比較して財政危機につながるのとは問題。又、危機的状況と分かっていたなら、保育園建設始め総額23億円もの大型建設追加事業の着手実施は不可能ではないのか。この事からも逆に、町長が訴えてきた危機的状況は架空の作り話といえる。何故町民の不安をかきたてる様な訴えをしてきたのか。伺いたい。

答 町長

本当に非常に残念。危機的状況は、何もやらない状況で行けば当然そうである。

新東栄医療センター運営

問

「赤字縮小や解消を目指すとなればさらに診療科目を選択する事になり医療サービス低下につながる覚悟が必要」との答弁は配慮に欠けた言葉ではないのか、伺いたい。

答

医療センター事務長 試算した以上に赤字縮小となれば診療機能を廃

止、縮小しかないと考えた。

問

赤字の縮小、解消は困難と断念し、その責任を患者の皆さんに転嫁するのは論外で本末転倒。町長は12億円の医療センター建設費を一円も減額する事なく医療サービスを低下させるとの答弁は逆ではないのか、伺いたい。

答 町長

現状の認識をしていた。だきたい。

問

保育園への看護師の配置は、厚労省との関係もあるとの事だったが、医療体制面で看護師不足がなくて、保護者の皆さんが安心できれば良いと思うが、一方人工透析などは、スタッフ不足を理由に中止、国にも出向かず努力義務もなしこれが町長の所信表明にある公平公正な町政の推進といえるのか。（答弁不要）





伊藤真千子
議員



Q 医師確保の現状は A へき地に赴任する医師が少ない

問 医師確保の方法と実績。

答 医療センター事務長

県、医科大学医局、他の医療機関に依頼その他独自採用である。現在は、県派遣や浜松医大、新城市民、豊橋ハートセンターから来ている。

問 救急受入・入院・透析中止の理由。

答 医療センター事務長

救急受入は、医師・看護師の確保ができず平成31年診療所化に伴い中止入院は、医師・看護師不足、入院患者数の減に伴う収支の悪化により廃止。

透析は、新医療センターでも実施する計画であったが、医師・看護師・技師の確保が出来ず継続的に安全に行えないため中止。

問 医師確保が出来れば救急受入・入院・透析が再開可能か。

答 医療センター事務長

医師確保が出来ても看護師、技師、事務職員等の人材も必要、医療機器、機材等の支出に対して収入不足救急についても2次救急を必要とされる患者様は他医院に搬送される。支出と診療報酬収入を考えれば多額の赤字となり町財政を圧迫する事を考えると実施できない。

問 正規医師が7名から3名になった理由。

答 医療センター事務長

人口減少とともに患者数が減ったことで老健が廃止、一般病床も診療所化に伴い40床から19床になり日赤からの医師派遣が廃止・県自治医大卒の

医師派遣数の減、常勤医が非常勤医となり現在3名である。

問 新医療センター建設後も医師確保するのか。

答 医療センター事務長

在宅療養支援診療所として24時間の連絡体制を予定。医師はできれば3名確保したい。医師派遣依頼を継続的に行い医師数確保に努力する。

問 新医療センター説明会を実施する計画は。

答 医療センター事務長

建設完了後の医療、保健、福祉の連携等について説明会を行いたい。開催期日は、コロナの状況やワクチン接種の状況を勘案して決めたい。

問 町長が欠席したと言われている地域医療対策協議会の設置目的は。

答 住民福祉課長

医療法の規定に基づき県下の医師確保を達成するための手立てである。

問 欠席した理由。

答 住民福祉課長

欠席したのではなく任期が切れ、委員で無くなった。

問 協議会の議決内容。

答 住民福祉課長

医師を必要としている地域枠医療機関は県内に20ヶ所、町は19番目である。また東三河北部医療圏の標準医師数62名と算出、現在東三河北部医療圏に医師が68名いるため医師は足りていると判断とされているが県では、少数区域と認定している。

問 おいでん家の運営方針、活動計画。

答 住民福祉課長

高齢者の居場所づくりは必要である。コロナ感染対策を考慮し午前中だけでも実施を考えている。

問 教育長

中学生が触れ合う場、町民としての役割を自覚する場となり教育的にも大変有効な意義がある。学校全体で取り組むこと

は難しいが、祝日や休日にボランティア活動に参加を希望する生徒が活動できるよう働きかける。

問 中止や休止となっているおいでん家の使用料及び備品の対応。

答 住民福祉課長

今年度から施設使用料、一回千円に全地区統一した。開催しない場合は、地区の負担になる。備品については、地区の意向を確認し判断する。



おいでん家での体操



浅尾もと子
議員



Q リコール署名を受け止め、 無床診療所の建設中止を A 進めることに何ら問題はない

入院・透析・救急を守れ

問 町長のリコール（解職）請求書には「10億円超の無床診療所の建設中止を」とある。署名の重みを受け止め、診療所建設の中止・大幅な見直しを行うべきだ。

答 町長 政治を決めるのは議会だ。議会で議決され、執行するのは民主主義のルールだ。進めることに何ら問題はない。

問 令和3年度の医療センターは56人体制。前年度比で看護職員は8名減（外来5名、病棟3名）だ。入院19床を継続し、診療科目の変更もない。新型コロナウイルスのワクチン接種事業が加わる。人員を減らせば負荷がかかる。なぜ削減したか。

答 医療センター事務長 退職者は定年含め7名、異動1名。うち看護師5名、准看護師1名。個々の事情によるもので一人も解雇していない。無床診療所への移行を考え、現在の事業はギリギリ維持できると判断し補充しなかった。

問 伊藤会長は危機感を表明し、「当地域は医療崩壊にどまらず地域崩壊も危ぶまれる」「ちよつとした入院治療のために数十キロも離れた病院へ運ばなければならぬ」となれば住民の負担だけでなく日頃の「不安」も増大する」と書いています。町民・郡医師会と議論して新たな解決策を見出す考えはないか。

答 町長 伊藤会長は危機感を表明し、「当地域は医療崩壊にどまらず地域崩壊も危ぶまれる」「ちよつとした入院治療のために数十キロも離れた病院へ運ばなければならぬ」となれば住民の負担だけでなく日頃の「不安」も増大する」と書いています。町民・郡医師会と議論して新たな解決策を見出す考えはないか。

地区住民の意見を聞くべきであるとも伝えました。「残念ながら当医師会のこつこつとした働きかけは顧みられることなく、無視されたまま（中略）無床化にまで計画が進んでしまいました」と書いている。町長は、どのように受け止めるか。

答 町長 北設楽郡医療等に関する協議会でも伊藤先生だけが有床診療所を望まれた。一番優先するところは、丹羽センター長を含めた先生方の意思ではないか。要望だけされてもできない。

新たな無床診療所の整備計画

総事業費を伺う。

住民福祉課長

答 建物9億3千5百万円、外構工事1億8百万円、医療機器整備費7千7百万円、設計管理費2千266万円、基本設計・実施設計等の経費7千941万4千円で総事業費12億2千207万4千円を予定し、一部を除き予算化している。

町の公共施設

問 町の野球場、グラウンド、テニスコートの町民の使用料の値下げを求める。使用料が高い、手

答 町民や団体から値下げの要望等はない。使用料を見直す予定はない。

教育課長

に使用料はテニスコート1千660円、野球場4千280円。設楽町では町民はテニスコート・体育館・トレーニング室など使用料が一部無料だ。

医療センター・保健福祉センター（仮称）
整備工事内訳

単位：千円（税込）

名称	工事区分	金額
建設工事	建築工事	589,000
	電気設備工事	165,000
	空調設備工事	111,000
	衛生設備工事	70,000
	計	935,000
外構工事	造成工事	13,000
	舗装工事	55,000
	排水工事	30,000
	その他工事	10,000
	計	108,000
総合計		1,043,000

今年度の議会だよりの表紙は、東栄中学校三年生の皆さんから「わたしの町とうえい」について書いていただきました。子どもは、町の次代を担う大きな宝物です。地域全体で育て、成長する姿を見守っていききたいと思います。

わたしの町とうえい

中学校には校則がありません。生徒たちが作った「生徒心得」と「できて当たり前十一か条」を、毎年度始めに生徒会が見直し、確認し合い、時には改正を行います。生徒会は、まさしく学校の町議会です。

中学校の生徒として、あいさつ、返事、はじめ、思いやりなど、大人になっても大切にしたいことばかりです。当たり前のことが当たり前にできる人を育てたいという先生方の思いも含まれています。

(校長 岡田 守)

東栄中 できて当たり前十一か条

- 一、「立ち止まり人より先に あいさつする」のが当たり前
- 二、「目と耳と心で 話を聴く」のが当たり前
- 三、「呼ばれたら、返事をする」のが当たり前
「ありがとう」「ごめんなさい」言うのが当たり前
- 四、「心と体の痛み わかってあげる」のが当たり前
- 五、「生活は 時間を守る」のが当たり前
- 六、「決まりごと ルールを 守って生活する」のが当たり前
- 七、「身だしなみ 気をつかう」のが当たり前
- 八、「宿題 提出物 期限を守って 全員提出する」のが当たり前
- 九、「場を清め 整理整頓 黙って掃除する」のが当たり前
- 十、「公共物 自分のものより 大切にする」のが当たり前
- 十一、「自分の仕事 責任をもつ」のが当たり前
「仕事を 進んで引き受ける」のが当たり前

東栄中学生徒会

小中学生の様子は、
学校ブログからも
知ることができます。
ぜひ訪ねてみてください。



東栄小



東栄中

No.1

人生のお手本 杉山様 結婚67周年夫妻

仲睦まじく共に力を合わせ、ご家庭の繁栄と町の発展に寄与され結婚67年目を迎えられたご夫婦を今回ご紹介します。

人口減少・少子高齢化が進む中で、高齢者介護・福祉のあり方等課題となっています。長い人生を生きるためのお手本として、町の未来を照らすヒントを教えてくださいました。ありがとうございます。

- Q 仲良く長く過ごせる秘訣を教えてください。
- A ある程度仕事をして頭を使うこと。
後はやりたいことをやるだけ。
- Q これからの目標は。
- A 毎日運動し足腰を鍛えもう少し長生きしたい
(毎日3000歩歩いている)。
花いじりが好きだけど今は草取りで精一杯。
やりたいことはいっぱいあるが、あまり無理せず
皆に迷惑かけず元気に暮らすこと。
- Q 町や議会に望むことは何ですか。
- A 中設楽地内(国道151号)にもバス停が欲しい。
(回答：現在検討中です)



杉山利男さん

さだ子さん

議会の新体制

4月30日に議会臨時会を開催し、議長・副議長の辞職に伴う選挙を行い、新たな体制となりました。

議長 原田 安生
副議長 加藤 彰男

総務経済委員会

委員長 伊藤 紋次
副委員長 伊藤 真千子

文教福祉委員会

委員長 山本 典式
副委員長 伊藤 芳孝

議会運営委員会

委員長 伊藤 芳孝
副委員長 加藤 彰男

議会報編集委員会

委員長 伊藤 真千子
副委員長 加藤 彰男



議会活動報告

28	25	16	11	8	7	2	1	6月	28	27	25	24	20	17	11	5月	30	27	22	9	7	6	4月
郡正副議長会	第3回臨時会	第2回定例会最終日 全員協議会・議員協議会	文教福祉委員会 総務経済委員会 議員協議会	一般質問	第2回定例会初日	議会運営委員会 シルバー人材センター 総会	議会運営委員会	臨時会	東三河広域連合議会 臨時会	郡正副議長会	北設広域事務組合議会 臨時会	議会管内視察	東三河広域連合議会 全員協議会	議会運営委員会	郡正副議長会	郡正副議長会	第2回臨時会・議員協議会	議会運営委員会	議会報編集委員会	東栄中学校入学式	東栄小学校入学式		

議会管内視察（5・24）の取り組み 町内14カ所の視察調査を実施

議会の活動はおもに「定例会」「臨時会」などでの議案審査や質疑が中心になりますが、町の政策や事業が具体的な「施策」や「制度（仕組み）」として住民の皆さんの福祉向上につながらなくてはなりません。東栄町の行政が実際にどのように機能しているか、また課題があるかを中心に現地にて「管内視察」を行いました。

当日は14カ所の施設や現場（工事など）を、議員と町長・副町長・教育長等が回りました。視察場所では担当課の職員や施設の関係者から、それぞれ説明を受け、また議員から質問をしました。

視察の内容を、今後の議会での議案審査や一般質問さらに住民の皆さんからの意見、要望にしっかり応えられるように生かしていきます。



ワクチン接種説明（医療センター）

〈おもな視察場所〉

東栄小中学校
東栄医療センター
とうえい温泉
新城消防署東栄分署
のき山学校
中設浄水場
東栄浄化センター
中田クリーンセンター
国道473号月バイパス
森林体験交流センター
など

9月定例会の予定

- 本会議は午前10時から開催します。
- 日程は変更になる場合もあります。
- 詳しくは、議会事務局へお問い合わせください（電話 0536-76-0505）。

9月 3日(金)	本会議(議案上程・説明・質疑)
9月 6日(月)	本会議・一般質問
9月 9日(木)	決算特別委員会
9月 10日(金)	総務経済委員会・文教福祉委員会
9月 15日(水)	本会議(委員会報告・討論・採決)

編集委員会 委員長：伊藤真千子／副委員長：加藤 彰男／委員：浅尾もと子

発行責任者 議長：原田 安生



とうえい議会だよりは、環境に優しい
植物油インクを使用しています

発行／東栄町議会・議会だより編集委員会

〒449-0292 愛知県北設楽郡東栄町大字本郷字上前畑25 ☎0536-76-0505